

松戸市・新拠点ゾーン

パブリックスペースからの まちづくりワークショップ 第1回、第2回が開催されました！

日時：事前授業令和4年9月8日～16日

ワークショップ9月21日、27日

会場：相模台小学校

参加者：相模台小学校6年生（117名）

主催：松戸市公園緑地課・松戸駅周辺整備振興課

運営：株式会社URリンケージ・設計組織プレイスメディア
千葉大学大学院園芸学研究所

協力：聖徳大学教育学部



https://www.facebook.com/2022WSmatsudo/



令和4年9月21日・27日に、新拠点ゾーン・パブリックスペースからのまちづくりワークショップの第1回、第2回として相模台小学校6年生(117名)を対象に、ワークショップが開催されました。このワークショップは松戸駅周辺のまちづくりと新拠点ゾーンの整備・公園再整備に向けて、小学生の街への認識を調査することを目的としています。総合の授業にて計4時間の事前授業を行い、まちづくりについての学習、保護者世代の意見調査、現在の松戸の街の調査分析等を行いました。ワークショップ第1回では、まちあるきによって街の特徴と課題の把握を行い、ワークショップ第2回では、調査をもとに、小学生ならではの「まちづくりプラン」の提案をしました。

事前授業1 「まちづくり」について学ぶ 9/8(木)



市職員より新拠点ゾーンのまちづくりの説明を行いました。事業の趣旨を理解すると共に、他の市のまちづくりについても学びました。また、市職員から小学生へ「まちづくりプラン」の作成が依頼されました。

2-2) 子育て世代の目線で考える編 9/15(木)



子育て世代の街への認識を深めるために、保護者へ「まちなかスポット」についてのインタビュー調査と、分析を行いました。授業参観にて保護

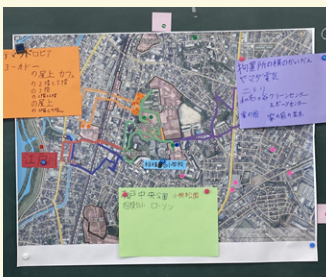
事前授業2「松戸駅周辺エリアの調査分析をしよう」 2-1) 小学生の目線で考える編 9/14(水)



まずは「自分にとっての街」について考えました。街の中での気に入りの場所について思い返し、自分の好きな「まちなかスポット」を選びました。松戸中央公園には「まちなかスポット」が集中し、多様な目的で利用されていることがわかりました。相模台公園を「まちなかスポット」に選んだ小学生は数人しかおらず、「まちなかスポット」としての認識が低いことがわかりました。



者参加型で開催され、子どもと過ごす時に自然を感じたいという視点や、歴史を学ぶ文化教育的な視点が見られました。イベントが開れる場所を「まちなかスポット」に選ぶ人も多数見られました。

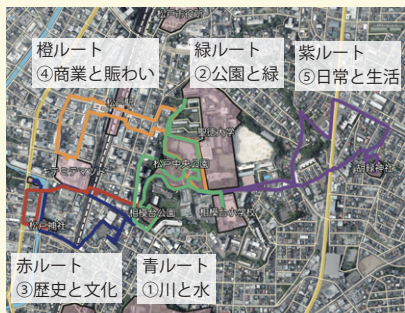


2-3) まちあるきルートの事前調査編 9/16(金)



「まちなかスポット」の分布を踏まえて街の中の特徴・課題などを書き出していきました。まちあるきルートの5班に分かれて、川で自然と触れ合える場所があること、駅の近くは様々なお店があつて便利なこと、街灯が少なく暗くて怖い場所があることなど、普段街で感じていることを班で話し合いました。

ワークショップ第1回 「まちあるき」をして調査しよう 9/21(水)



班に分かれて5つのルートでまちあるきを実施しました。

①「川と水」：坂川や暗渠、②「公園と緑」：松戸中央公園や相模台公園、③「歴史と文化」：旧水戸街道や



松戸神社、④「商業と賑わい」：駅前商業施設、⑤「日常と生活」：東側住宅地や胡録神社
まちあるきでは隠された水の通り道である「暗渠」を発見したり、斜面林の木陰の涼しさを感じたりなど実際に街を歩き発見したことがたくさんありました。古写真を見ながら、街の特徴を発見する様子も見られました。まちあるきで発見した特徴・課題を踏まえ「まちづくりプラン」の提案箇所を決めていきました。



ワークショップ第2回 「まちづくりプラン」をつくらう 9/27(火)



各班の中で、選んだ3つの提案箇所に対して、どのようにまちづくりをしたら良いのか「まちづくりプラン」を考え、具体的な街の未来像を提案しました。中には提案を分



かりやすく説明するために、スケッチを作成する班もありました。作成した「まちづくりプラン」を班ごとに発表し、小学生、松戸市の職員、大学の教授、大学生と各々の視点から意見交換をしました。特に小学生同士で活発に意見交換をする姿が印象的で、まちづくりへの関心の高さを感じました。

クラス	テーマ(班)	「まちづくりプラン」のタイトル
6年1組	川と水	大人から子供まで安全に水の音を味わえるスポット
	公園と緑	はばひろい世代で年中身近に楽しめる
	歴史と文化	もっと活気あふれる 訪れた人に歴史を感じられる
	商業と賑わい	様々な人がお店を通して交流できる街
6年2組	日常と生活	みんなが行きたくなる人気な場所
	川と水	水や歴史とふれあえる場
	公園と緑	にぎやかで楽しく安心安全
6年3組	歴史と文化	春夏秋冬で歩くのが楽しい街
	商業と賑わい	文化を大切にしながら明るい土地をつくる
	日常と生活	安心安全で歴史を学ぶことで人が集まって住みやすい場所
	公園と緑	美しい自然、安心してすごせる公園
6年4組	歴史と文化	様々な年代に親しみやすく愛されちゃう松戸
	商業と賑わい	駅周り便利化プラン
	日常と生活	住宅地を豊かにしよう!
	川と水	キテミテ親水広場
6年4組	公園と緑	自然の中で安全に楽しく過ごせる便利な場所
	歴史と文化	歴史と自然に触れ合える街
	商業と賑わい	多様性の松戸
	日常と生活	人が使いやすくて活気のある松戸

「まちづくりプラン」～小学6年生からの提案～



小学生の「まちづくりプラン」まとめ

①「川と水」

- ・水質や植栽管理の改善により生き物呼び込み、より生き物と触れ合える場所にする。
- ・河川空間を地域の人がつながるコミュニティの場にする。
- ・スロープやデッキを作り川に近づける場所を作る。

②「公園と緑」

- ・公園と街の動線を見直し、アクセシビリティを向上させる。
- ・暗い場所や見通しの悪い場所を改善し、安全性を確保する。
- ・老朽化した施設の改善や、階段に手すりをつくるなど、ユニバーサルデザインを取り入れる。
- ・キッチンカーの導入、お花見ツアーなど、様々な利用ができる公園をつくる。

③「歴史と文化」

- ・神社境内で春夏秋冬に応じたイベントを開催する。
- ・植栽の管理を市民参加で行いコミュニティづくりをする。
- ・QRコードを設置し、歴史を学ぶことができる場を作る。

④「商業と賑わい」

- ・東西のアクセス向上、ペDESTリアンデッキの高低差改善など誰もが利用しやすいユニバーサルデザインにする。
- ・西側商業エリアへ緑を増やす。
- ・西側デッキをキテミテマツドまでつなげる。

⑤「日常と生活」

- ・神社の樹林や斜面林などの手入れを行い、景観を確保する。
- ・昔からある畑を生かして農業体験、歴史体験ツアーをする。
- ・見晴らしの良い場所に展望台を作り、みんなが集まれる場所にする。

今回の成果は、新拠点ゾーンにおける松戸中央公園・相模台公園のリニューアルに活かしてまいります。